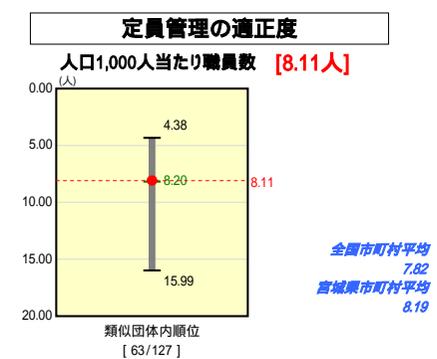
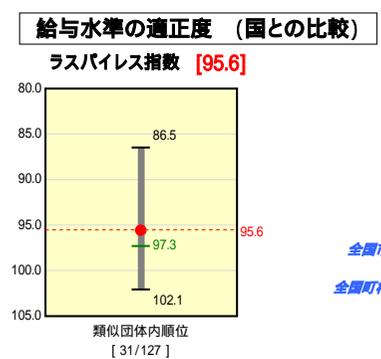
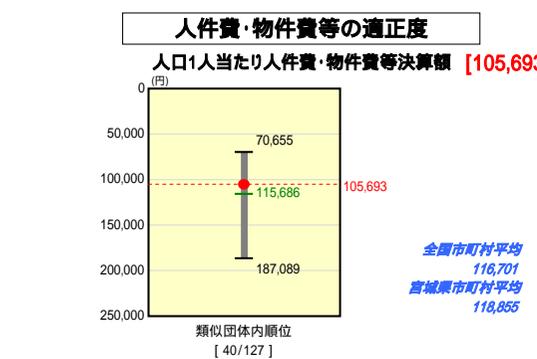
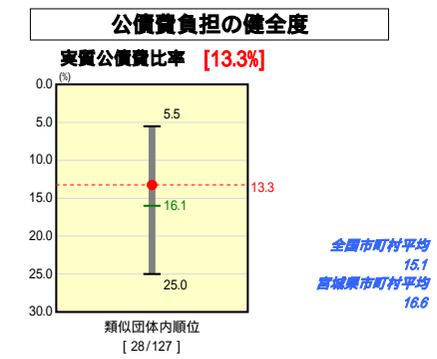
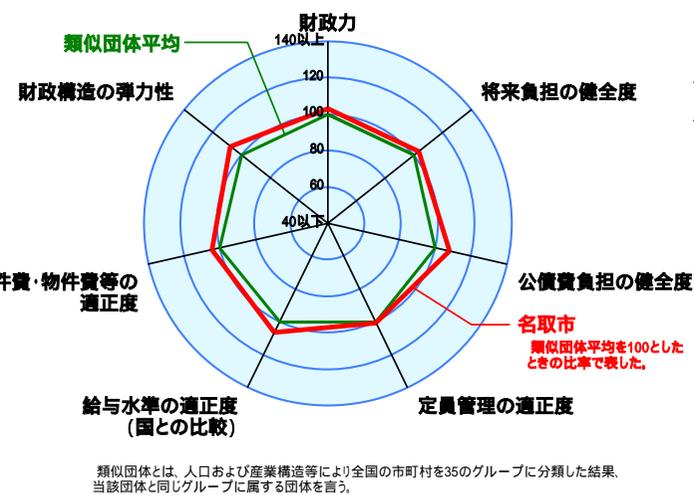
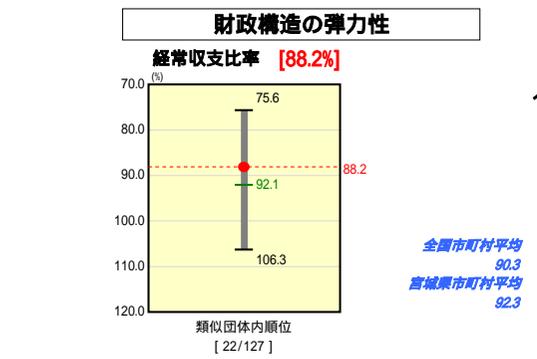
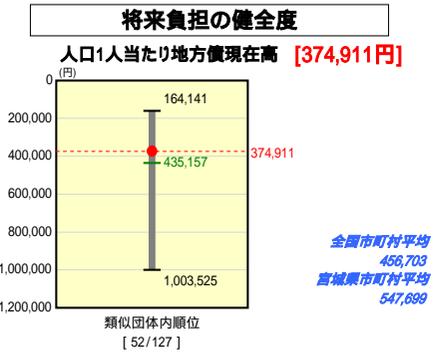
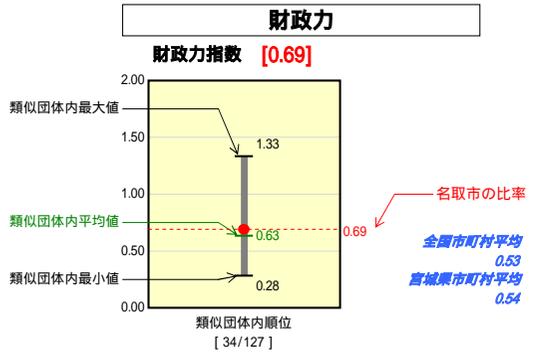


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

宮城県 名取市

| | | |
|------|------------|-----------------|
| 人口 | 68,685 | 人(H19.3.31現在) |
| 面積 | 100.06 | km ² |
| 歳入総額 | 22,325,479 | 千円 |
| 歳出総額 | 21,872,107 | 千円 |
| 実質収支 | 374,979 | 千円 |



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:平成18年度は0.69で、前年度から0.02伸びており、全国類似団体平均を上回っている。主要因としては法人市民税等の税収が増加したためである。今後もより一層の歳入確保と、歳入確保に努める。

経常収支比率:平成18年度は、市税等の伸びによる経常一般財源等の増と、人件費、公債費等が減になったことにより対前年度0.6ポイント減と若干ながら改善されたが、一方で、扶助費の増加に歯止めがかからない状況にあり、また、今後公債費の増加も見込まれることから、更なる経常経費削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:指定管理制度への移行など、民間委託の推進等により物件費が増となる側面があるが、引き続き人件費の適正化と物件費の抑制に努める。

ラスパイレス指数:全国類似団体平均を下回っており、平成18年4月1日に国の給与構造改革をふまえた給料表の見直しも進んでいる。今後も給与の適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数:全国類似団体平均を下回っているが、引き続き名取市集中改革プランに基づいた、公共施設の統廃合、民間委託、退職者不補充等による職員数の適正化に努める。

実質公債費比率:全国類似団体平均は下回っているが、平成18年度は、前年度から0.5ポイント増加している。今後は臨空都市整備等に係る市債の償還開始により増加傾向にあることから、今後も新規発行にあたっては後年度への影響を考慮しながら事業の厳選、重点化に努める。

人口1人当たり地方債現在高:全国類似団体平均は下回っているが、投資的経費については、ピークは過ぎつつあるものの引き続き臨空都市整備、それから小中学校の耐震化などが計画されており、これらの財源を市債で見込まなければならないことから、今後も新規発行にあたっては後年度への影響を考慮しながら事業の厳選、重点化に努めるとともに、償還と発行のバランスに配慮する。